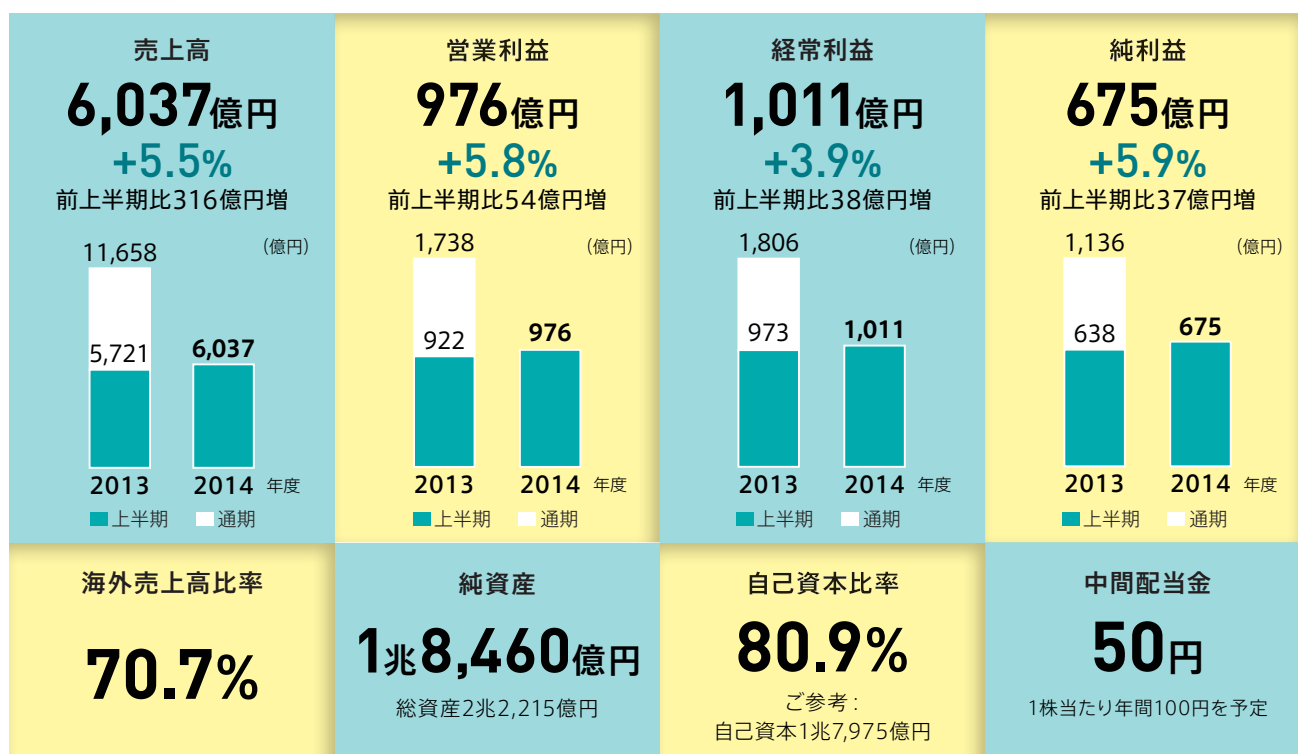


138期上半期報告書

2014年4月1日～2014年9月30日

信越化学工業株式会社

Highlight シンエツハイライト



しんえつニュースクリップ

シンテック社がアメリカ合衆国から輸出貢献で表彰

世界最大の塩ビメーカーである米国子会社のシンテック社は、1974年10月17日に操業を開始し40周年を迎えました。この記念すべき年に、アメリカ合衆国より同国の輸出拡大に大きな貢献をした企業や団体に贈られる「大統領“E”賞」を授与されました。

シンテック社は、2012年と2013年のテキサス州のヒューストン港におけるコンテナ貨物の出荷企業の中で最大の出荷量を記録しました。2013年には、塩ビとか性ソーダの輸出額が13億ドル以上に達し、そのめざましい輸出実績がアメリカ合衆国から評価されました。



株主の皆さまへ

積極的な販売と投資による 経営を推し進め、 一層の成長を目指しています。

株主の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

●当上半期の概況

当上半期（2014年4月1日～9月30日）の世界経済は、欧米では景気回復が期待されたものの力強さを欠く展開となり、アジア地域などの新興国では伸び悩みの傾向が続きました。日本経済は緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などもあり、個人消費に弱さが見られました。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き世界の幅広い顧客への積極的な販売を推進し、技術および品質の向上、新規製品の開発に鋭意取り組んでまいりました。また、生産能力の強化、製造拠点の分散化、原材料の安定確保にも努めてまいりました。

この結果、当上半期の業績は、連結売上高6,037億2千7百万円（対前年同期比5.5%増）、連結営業利益976億1千4百万円（同5.8%増）、連結経常利益1,011億4千1百万円（同3.9%増）、連結純利益675億8千9百万円（同5.9%増）と、増収増益を達成いたしました。

当社は長期的な観点に立って事業収益の拡大と企業体質の強化に努め、その成果を株主の皆さまに還元するという基本方針に基づき、当上半期の配当金を1株当たり50円とさせていただきます。

●主要事業の動向

塩ビ・化成品事業では、米国のシンテック社が原料価格の上昇やか性ソーダの市況軟化の影響を受けたものの、住宅市場に回復が見られた米国内の需要を積極的に取り込むとともに、世界中の顧客への販売に傾注することで底堅く収益を上げました。オランダのシンエツPVC社も出荷が順調に推移しました。国内事業は需要の回復が見られた一方で原料価格が上昇し、厳しい状況が続きました。

半導体シリコン事業では、スマートフォン向けなど幅広い分野の旺盛な需要により、上半期前半は高水準の出荷が続きました。後半に入り、一部半導体デバイス分野で在庫調整の動きが生じましたが総じて堅調な出荷となりました。

シリコン事業は、国内の電子機器向けに回復が見られ、自動車や化粧品向けも総じて順調に推移しました。海外では欧米、中国、東南アジア向けの機能製品や汎用品が好調でした。

電子・機能材料事業では、希土類磁石はハイブリッド車をはじめとする自動車向けが好調に推移し、大容量ハードディスクドライブ向けも底堅く推移しました。フォトレジスト製品はArFレジストや多層レジスト材料などが伸長し、LED用パッケージ材料も堅調でした。光ファイバー用プリフォームは、顧客の在庫調整の影響を受けました。

●企業価値の拡大に向けて

当社グループは生産能力の増強や生産拠点の分散化を通じて、既存事業のさらなる成長に取り組んでいます。投資先としては米国を重視



代表取締役会長 金川 千尋



代表取締役社長 森 俊三

し、シンテック社では、ルイジアナ州で、塩ビの原料のひとつである塩の電気分解から塩ビ樹脂までの一貫生産工場の能力を増強する工事を進めています。また、セルロース事業では、建材用塗料向けに需要の伸びが見込まれるヒドロキシエチルセルロース（HEC）の新工場を米国内に建設中です。ドイツの既存工場に加え、第二の拠点を持つことにより、生産拠点の分散化と販売力の強化を図ります。アジア地域では、ベトナムに希土類磁石の製造工場（年産2千トン）の新設を決定しました。同工場では、日本国内だけで行っていた焼結工程を設け、リスクの分散化を図るとともに同工程の生産能力を従来の約1.5倍に増強し、旺盛な需要を取り込んでまいります。

また、当社の持つ技術を生かした独創性のある新規製品の開発にも力を注いでいます。ヘルスケア、電気・電子、エネルギー、半導体などの分野に注目し、各分野で成長が期待される最先端材料の研究開発に鋭意取り組んでいます。これら新規事業育成のためにも、今収益を上げている既存事業を強化し、経営基盤をより一層盤石なものにする投資も進めてまいります。

●株主還元の方針

市場環境の急激な変化や自然災害、カントリーリスクなど、事業推進に影響を及ぼす不測の事態が、近年とみに増加しています。当社グループでは、不測の事態にも機敏に対応する経営努力によって収益を確保し、安定した配当を継続していくことに全力を傾けています。今後とも長期的な観点で事業収益の拡大と企業体質の一層の強化を図り、株主の皆さまには安定的な配当を通じて適正な利益還元を行ってまいります。

●公正な経営の推進

当社グループでは、安全の最優先と遵法に徹した公正な企業活動の推進を経営の基本としています。豊かな経営経験や学識を備えた方々を独立性の高い社外取締役および社外監査役として招き、卓越した知見をもって経営への助言や監督を行っていただいています。同時に内部統制システムの厳格な運用とともに、経営の健全性と透明性の確保を図っています。

当社グループでは、これからも社会から信頼される企業活動を通じて企業価値の最大化を目指し、皆さまのご期待にお応えしてまいります。

株主の皆さまにはなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2014年 11月

代表取締役会長

代表取締役社長

金川千尋 森俊三

Net Sales/Operating Income by Segment 事業概況

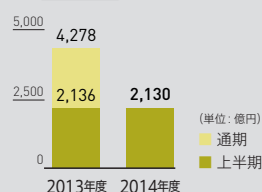
塩ビ・化成品

売上高比率 35.3%

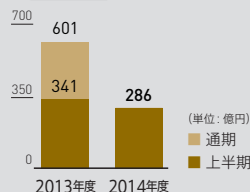
- 米国シンテック社は、塩化ビニルの原料価格の上昇と、か性ソーダの市況軟化の影響を受けましたが、米国内の住宅市場の回復に伴う需要増を取り込むとともに、世界中の顧客への積極的な販売で底堅い収益を上げました。
- オランダのシンエツPVC社も出荷が順調に推移しました。
- 国内は需要の回復が見られましたが、原料価格の上昇もあり厳しい状況が続きました。

主要製品 塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン

売上高 -0.3%



営業利益 -16.1%



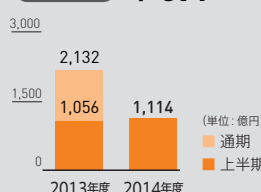
半導体シリコン

売上高比率 18.5%

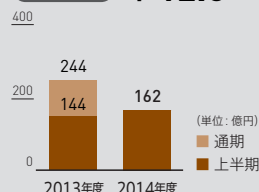
- 上半期の前半はスマートフォン向けをはじめ幅広い分野で旺盛な需要が続き、出荷は高水準に推移しました。
- 上半期の後半には一部の半導体デバイスメーカーの在庫調整の動きが見られたものの、出荷は総じて堅調でした。

主要製品 半導体シリコン

売上高 +5.4%



営業利益 +12.5%



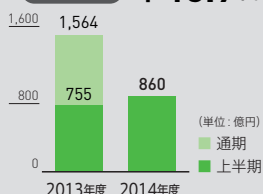
シリコン

売上高比率 14.3%

- 国内は電子機器向けで回復が見られ、自動車や化粧品向けも総じて順調に推移しました。
- 海外は、欧米をはじめ中国、東南アジア向けの機能製品や汎用製品が好調でした。

主要製品 シリコン

売上高 +13.9%



営業利益 +29.3%



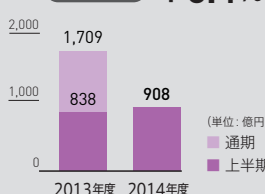
電子・機能材料

売上高比率 15.0%

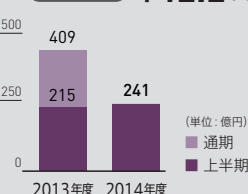
- 希土類磁石はハイブリッド車をはじめとした自動車向けが好調で、大容量のハードディスクドライブ向けも底堅く推移しました。
- フォトレジスト製品は、半導体デバイス微細化の進展もあり、ArFレジストや多層レジスト材料などが伸長しました。
- LED用パッケージ材料は堅調でした。
- 光ファイバー用プリフォームは、顧客の在庫調整の影響を受けました。

主要製品 希土類磁石、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル

売上高 +8.4%



営業利益 +12.2%



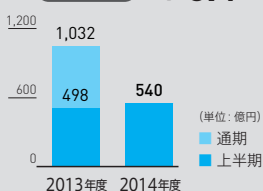
機能性化学品

売上高比率 8.9%

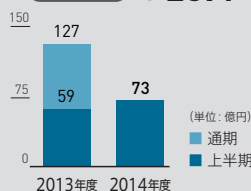
- 国内のセルロース誘導体は医薬用が堅調で、建材用も底堅く推移しました。
- ドイツのSEタイロース社のセルロース誘導体は、価格競争の激化の影響を受けました。
- 豪州のシムコア社の金属珪素は市況の回復で堅調に推移しました。
- 合成性フェロモンは上半期の前半に大口の出荷があり好調でした。

主要製品 セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン

売上高 +8.4%



営業利益 +23.4%



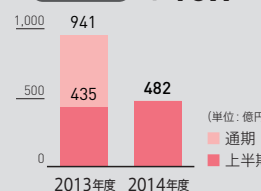
その他関連

売上高比率 8.0%

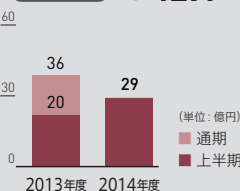
- 信越ポリマー社の自動車用入力デバイスや半導体ウエハー関連容器は堅調に推移しました。
- 信越エンジニアリング社のエンジニアリング事業も底堅く推移しました。

主要製品 樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

売上高 +10.9%



営業利益 +42.1%



素材のチカラ

～「半導体シリコン」編～ (シリコンウエハー)

信越グループの製品は、私たちの身の回りの生活用品から最先端技術を要する産業の分野まで、姿や形を変え使われています。今回で第3回となる特集「素材のチカラ」では、電子機器の心臓部ともいわれる半導体デバイスを作るのに欠かせない材料であるシリコンウエハーをご紹介します。

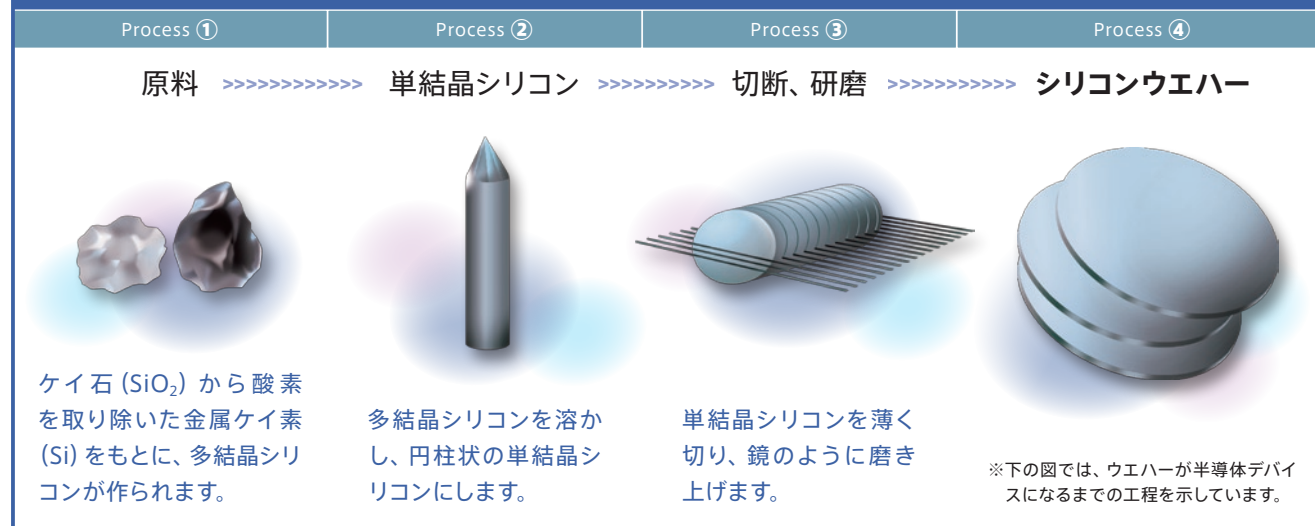
シリコンウエハーとは？



半導体デバイスの基板となる材料

パソコンやスマートフォン、テレビやデジタルカメラといった私たちの身の回りの電子機器などに使われる半導体デバイスの基板材料となるのがシリコンウエハー（以下ウエハー）です。ウエハーの上に熱処理や化学処理を施しながら微細な回路を作り込むことで半導体デバイスは完成します。1枚のウエハーから多くのデバイスを作るため、ウエハーの大口径化が進み、現在は直径300mmサイズが主流となっています。信越グループは、最先端の半導体デバイスに求められる高品質なウエハーの開発と世界のお客さまへの安定供給に努め、世界トップの販売シェアを築いています。

シリコンウエハーができるまで (シリコンウエハーの製造工程)

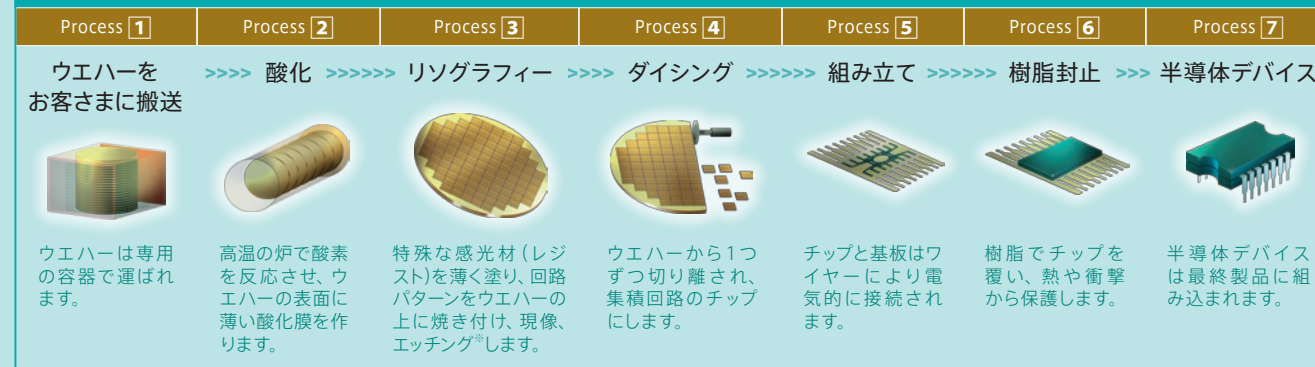


シンエツの「半導体材料」

最先端の半導体デバイスの製造に欠かせないさまざまな材料を供給

半導体デバイスの製造では、ウエハーから半導体デバイスができていくまで多くの工程を必要とします。信越グループは、ウエハーだけでなく、半導体製造工程で必要とされるさまざまな製品を供給し、半導体産業の発展に貢献しています。

シリコンウエハーから半導体デバイスになるまで



※エッチング：化学薬品を使い、化学反応をさせ表面加工を行うこと

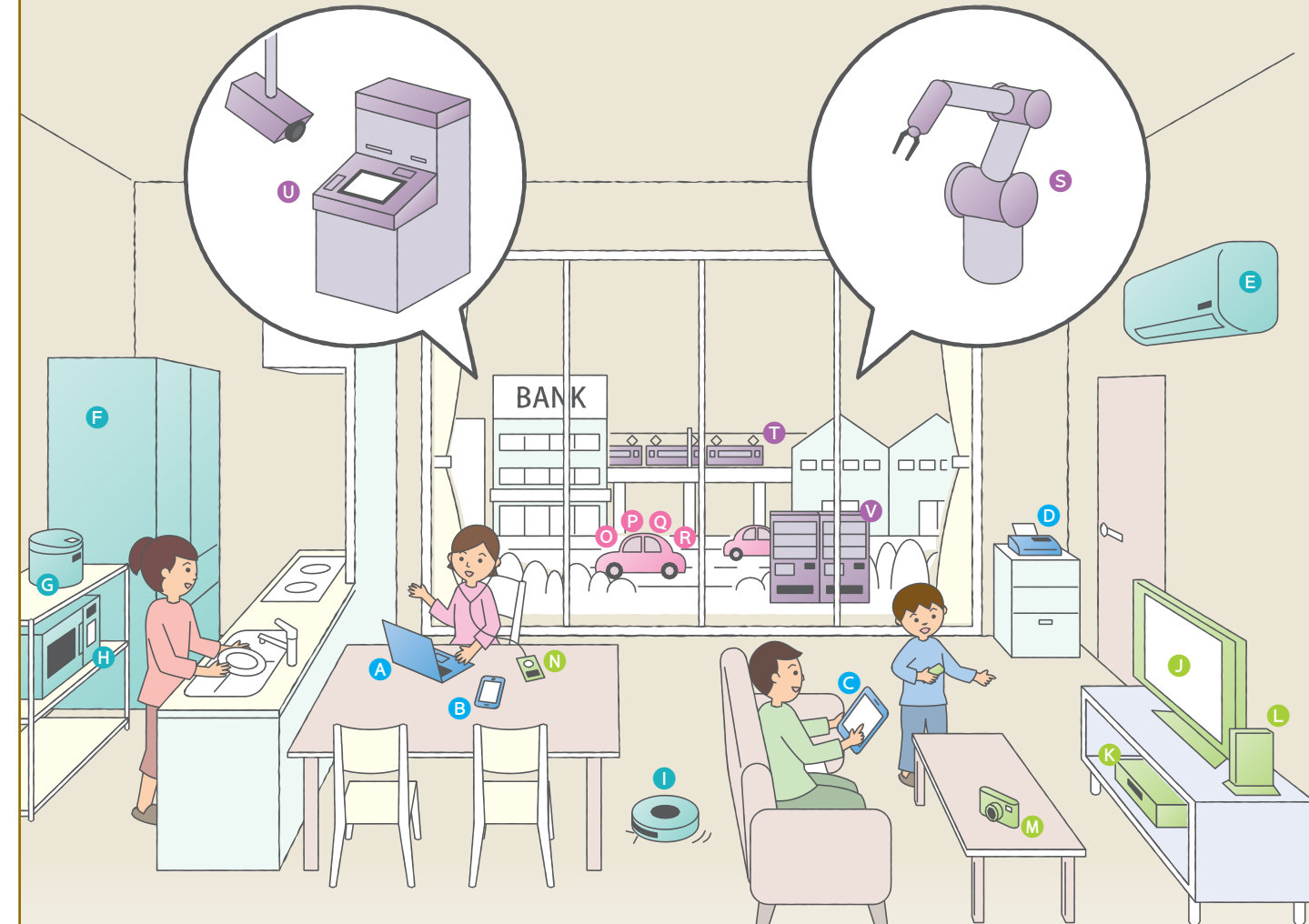
信越グループの取り扱い製品

- | | | |
|---------------------|---------------------------|-----------------------|
| Process ① 金属ケイ素 | Process ① ウエハー関連容器 | Process ⑥ 半導体用封止材 |
| Process ② 石英ガラスのつぼ | Process ② 半導体製造プロセス用石英ガラス | Process ⑦ 放熱シリコンゴム加工品 |
| Process ③ 炭化ケイ素研磨微粉 | Process ③ 合成石英フォトマスク基板、 | |
| Process ④ シリコンウエハー | フォトレジスト、ペリクル、 | |
| | マスクブランクス | |

暮らしの中の「半導体」

便利な暮らしを支える多彩な機能

記憶、演算、通信、発光（照明）、制御、センサー機能など多彩な機能を持つ半導体デバイスはさまざまな製品に搭載されています。私たちの身の回りでもスマートフォンやタブレットなどの通信機器から家電製品、自動車、ホームセキュリティシステム、カード決済システムなど半導体デバイスが使われている製品がいたるところにあり、豊かで安全な暮らしを支えています。



情報通信機器・端末

- A パソコン
- B スマートフォン
- C タブレット端末
- D ファクシミリ

家電

- E エアコン
- F 冷蔵庫
- G 炊飯器
- H 電子レンジ
- I 掃除機

AV機器

- J テレビ
- K ブルーレイディスク/DVDレコーダー
- L ゲーム機
- M デジタルカメラ
- N 音楽プレーヤー

自動車

- O カーナビゲーション
- P エンジン制御
- Q ETC
- R パワーステアリング

インフラ・その他

- S 産業用ロボット
- T 電車
- U 銀行ATM
- V 自動販売機

「半導体」のミライ

半導体デバイスの進化はさまざまな分野へ

常に進化を続ける半導体デバイスは、私たちの暮らしを豊かにする製品の開発に貢献してきました。例えば、介護や福祉、医療分野においては、移乗介助や入浴を補助するロボットや怪我からの回復を支援するロボットなどの精緻な動きを制御するために利用されています。今後も、高性能の半導体デバイスが機能性に優れた製品、小型で軽量化が必要な製品、消費電力を抑えた製品などに利用され、その用途は幅広い分野に広がっていくと期待されています。

信越グループは新たな素材の開発や高品質な製品を安定供給することにより、快適な暮らしに貢献していきます。



介護・医療を支援する歩行練習アシストロボット
(提供：トヨタ自動車)

会社概要 (2014年9月30日現在)

商 号：信越化学工業株式会社
設 立：1926年9月16日
資 本 金：119,419,688,785円
本 社：〒100-0004
東京都千代田区大手町
二丁目6番1号
電 話：03 (3246) 5091 (広報部)
U R L：http://www.shinetsu.co.jp/
従業員数：18,028名 (連結)

役 員 (2014年9月30日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ ^{*1}	池上 健司
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資 ^{*1}	塩原 利夫
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅 ^{*1}	常勤監査役 岡田 理
	斉藤 恭彦		福井 俊彦 ^{*1}	監査役 渡瀬 昌彦 ^{*2}
専務取締役	石原 俊信		小宮山 宏 ^{*1}	福井 琢 ^{*2}
常務取締役	幅田 紀一		宮島 正紀	小坂 義人 ^{*2}
	高杉 晃司		笠原 俊幸	永野 紀吉 ^{*2}
	轟 正彦		小根澤 英徳	^{*1} 社外取締役
	秋本 俊哉		中村 健	^{*2} 社外監査役
	荒井 文男		岡本 博明	
	松井 幸博		上野 進	
			丸山 和政	

株式の状況 (2014年9月30日現在)

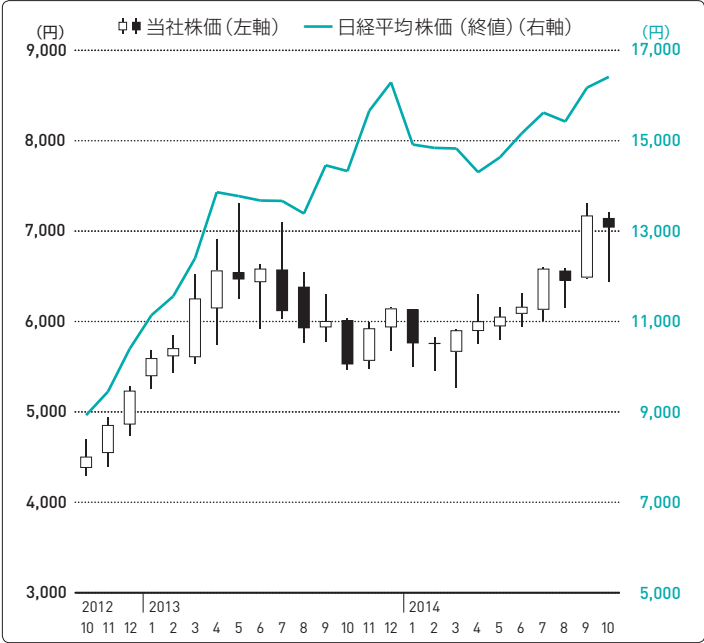
発行する株式の総数：1,720,000,000 株
発行済株式総数：432,106,693 株
(注) 自己株式6,333,305株が含まれております。
株主の総数：50,157 名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	38,873	9.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	28,257	6.6
日本生命保険相互会社	22,702	5.3
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	11,428	2.7
明治安田生命保険相互会社	10,687	2.5
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5,357	1.3
ザバンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌバイ 10	5,191	1.2
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー	5,116	1.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	5,046	1.2

(注) 当社は、自己株式6,333,305株を保有しておりますが、上記の大株主からは
除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
期末配当受領株主確定日：3月31日
中間配当受領株主確定日：9月30日
定 時 株 主 総 会：毎年6月
公 告 掲 載 方 法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
(http://www.shinetsu.co.jp/)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告によることができない場合は、日本経済新聞に
掲載いたします。
単 元 株 式 数：100株
上 場 証 券 取 引 所：東京・名古屋
株 主 名 簿 管 理 人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 管 理 機 関
同 連 絡 先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などのご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

